

令和4年度デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）充当事業の検証について

No.	1	事業名 (計画年度)	赤城山広域連携 サイクルツーリズム (令和3年度～令和5年度)	担当課	観光課
総合戦略の 位置づけ		基本目標	「ひと」の流れづくり		
		施策の基本的方向	スポーツや教育・文化による交流人口の拡大		
事業概要		<p>地域での観光消費を高め、新型コロナウイルスの影響により冷え込んだ地域経済の活性化を図るため、ウィズ・ポストコロナ時代に適合したコンテンツ重視の観光施策として自転車振興を推し進め、サイクルツーリズムの対象区域を拡大し、赤城周辺自治体（前橋市、桐生市、渋川市、みどり市）や民間事業者など地域の関係者が連携してナショナルサイクルルートの指定を目指したサイクルツーリズムに取り組む。</p> <p>当市としては、ルートとなっている赤城地区は、関越自動車道ICがあり、首都圏からのアクセスの良さが強みであるため、この取組を契機に赤城地区の観光資源をPRするとともに、交流人口を増やし市全体の観光振興を推進する。</p>			
令和4年度 総事業費 (渋川市支出分)	922,000円	令和4年度 総事業費 (4市合計支出分)	33,939,000円		
令和5年度 総事業費 (渋川市支出分)	922,000円	交付金の種類 (補助率)	地方創生推進タイプ (1/2)		
主な取組		<ol style="list-style-type: none"> 1 サイクルオアシスの管理 2 スタンプラリー事業 <ul style="list-style-type: none"> ・電子スタンプラリー実施 3 赤城山e-Bikeプロジェクトイベント <ul style="list-style-type: none"> ・日本人向けサイクリングツアー ・インバウンド受入 ・視察受け入れ等 4 赤城山サイクルツーリズムプロモーション 			

	<ul style="list-style-type: none"> ・書籍への広告記事掲載 ・Web 広告記事掲載 <p>5 赤城山広域周遊イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイクリング赤城2022（赤城山1周ライド、AKAGI サイクルスタンプラリー、ぐるぽたAKAGI） 	
<p>重要業績評価指標（KPI）</p> <p>令和4年度実績</p>	指標①	観光入込客数
	目標値	707.2 千人
	実績値	<p>1,347 千人</p> <p>※下記施設の入れ込み客数の合計</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前橋市 <ul style="list-style-type: none"> ①あいのやまの湯 189,931 人 ②道の駅ぐりーんふらわー牧場大胡 265,191 人 ③富士見温泉見晴らしの湯ふれあい館 130,838 人 ・桐生市 <ul style="list-style-type: none"> ①道の駅くろほね・やまびこ 103,480 人 ・渋川市 <ul style="list-style-type: none"> ①道の駅こもち 445,465 人 ②赤城自然園 65,748 人 ③赤城第一直売所 92,496 人 ・みどり市 <ul style="list-style-type: none"> ①小平の里 46,104 人 ②まちなか交流館 8,122 人
	指標②	サイクリングガイドの養成人数
	目標値	12 人（累計）
実績値	<p>9 人（累計）</p> <p>※前橋観光コンベンション協会主催のガイド養成プログラム研修を修了し、単独でガイドを催行することができると認定された者</p> <p>※令和4年度認定者は3人</p>	

	指標③	多機能ポータルサイトアクセス数
	目標値	387,500 回
	実績値	588,044 回 ※サイト「赤城山をあそぼう！Akagi Trip」の閲覧数
	指標④	e-Bike のレンタル台数（台）
	目標値	134 台
	実績値	401 台 ※スポーツタイプの電動アシスト自転車の2箇所でのレンタル数合計 ①前橋駅（両毛線）②道の駅まえばし赤城
事業効果 ※選択肢 ① 地方創生に非常に効果的であった ② 地方創生に相当程度効果があった ③ 地方創生に効果があった ④ 地方創生に対して効果がなかった		③地方創生に効果があった
事業効果の 選択理由等	<p>令和3年度に引き続き、各事業の企画から実施期間に渡りコロナ禍となり、全国的に多くのイベントが中止となった中でも赤城山周辺市が連携して事業を実施することができ、赤城山広域観光振興において意義のある1年となった。</p> <p>重要業績評価指標（KPI）において、サイクリングガイド養成人数以外の指標で実績値が目標値を上回ったことや、アンケート結果での参加者満足度、次回参加したい参加者の割合等を考慮すると、本事業全体として赤城山地域の自然環境、食文化、観光資源の周知と交流人口の増加という目的を果たすことができたと考えられる。</p> <p>当市としては、渋川会場スタートのサイクルイベント参加者に対し、市の観光パンフレットの配布や、キッチンカーの出店による赤城地区を代表するグルメを振る舞うおもてなし等を行い、イベント後も再訪してもらうよう市の観光資源をPRした。これにより参加者の当市へのリピート率が向上し、赤城地区以外の周辺施設、観光スポットへの来訪も期待できるものとする。</p> <p>こういった状況をふまえ、本事業は「地方創生に効果があった」とした。</p>	

実績値を踏まえた事業の今後について	今後の方針 ※選択肢 ① 追加等更に発展させる ② 事業の見直し(改善) ③ 事業の継続 ④ 事業の中止 ⑤ 予定どおり事業終了	③事業の継続	
	理由	<p>参加者や協力各施設の満足度は高く、「赤城山1周ライド」では、イベント終了後に宿泊して帰る参加者も見受けられた。</p> <p>一方で本年も集客面で苦勞したため（一周コース：参加者91名／定員200名、ハーフコース：参加者11名／定員50名）、魅力的なゲストライダーの人選や早期からの広報活動を通じて更に活気づいたイベントとしたいと考えている。</p> <p>「AKAGIサイクルスタンプラリー」や「ぐるポタAKAGI」では、「知らないお店を発見でき、何軒かリピートするようになった」といった経済効果が期待できるアンケート回答もいただいた。</p> <p>本事業を継続することで、赤城山ツーリズムの全国的な認知度向上と、赤城山周辺地域全体でのおもてなし体制の熟度を高め、広域的な地域振興の実現に資すると考えるため、「事業の継続」とした。</p>	
外部有識者からの評価	事業の評価	地方版総合戦略のKPI達成に有効であった ----- 地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった	○
	外部有識者からの意見	<p>4自治体での地域連携事業であり、観光分野において複数自治体が連携して事業を実施している点は評価できる。</p> <p>本事業の計画期間は令和5年度までとなっているが、赤城山という群馬県のシンボルでのイベントが産業や観光業にもたらす波及効果は大きい。計画期間終了後もイベントを継続していけるよう、様々な方策を検討する必要がある。</p>	